

平成 29 年 10 月 20 日

報道関係各位
プレスリリース

医療法人 新成医学会
企画医療情報室

平成 29 年 10 月 21 日 市民公開講座「認知症のいまを学ぼう」開催

表題のとおり、市民公開講座「認知症のいまを学ぼう」を下記の要領で開催致します

記

開催日時：平成 29 年 10 月 21 日（土） 開場 12：00 開演 13：00

開場：新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール（新潟市中央区上所 2 丁目 2-2）

プログラム

第 1 部講演（13：00～14：25）

「認知症予防の展望」 講師 川瀬神経内科クリニック 理事長 院長 川瀬 康裕 氏

「認知症とともに～取材を通して見えた課題～」

講師 新潟日報社 編集局報道部デスク兼論説編集委員 石原 亜矢子 氏

第 2 部講演（14：40～15：40）

「地域で見守る認知症～地域包括ケアシステムにおける認知症対策～」

講師 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 成瀬 聡 氏

「認知症の詩～若年性認知症本人の声

講師 老行の会 福田 人志 氏

第 3 部 パネルディスカッション（15：45～16：30）

パネリスト 川瀬 康浩 氏 石原 亜矢子 氏 福田 人志 氏

コーディネーター 成瀬 聡 氏

講師のご紹介(講演順)



かわせ やすひろ

● 川瀬 康裕氏（川瀬神経内科クリニック 理事長・院長）

1973年 新潟大学医学部卒業。1984年 特定医療法人属協会 三之町病院神経内科医長に就任。1993年 医療法人社団川瀬神経内科クリニック理事長・院長に就任。2015年 認知症疾患医療センター連携型センター長に就任。日本神経学会専門医、日本認知症学会専門医、日本内科学会認定内科医。



いしはら あやこ

● 石原 亜矢子氏（新潟日報社 編集局報道部デスク兼論説編集委員）

1992年 新潟日報社入社。報道部市政担当、東京支社などを経て報道部デスク。現在は生活面や社会保障分野を担当。連載企画「認知症とともに」（第3回日本医学ジャーナリスト協会賞優秀賞など受賞）や、「がんと向き合う」（第35回ファイザー医学記事賞大賞受賞）を担当。



なるせ さとし

● 成瀬 聡氏（総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長）

1986年 新潟大学医学部卒業。新潟大学脳研究所神経内科、新潟大学医学研究大学院にて認知症の研究に従事。1997年よりジョンズ・ホプキンス大学に留学。帰国後は新潟大学脳研究所にて、神経難病・認知症の治療・研究に取り組む。2012年より総合リハビリテーションセンター・みどり病院院長、2014年より認知症疾患医療センター長に就任。認知症の治療・地域連携に取り組んでいる。



ふくだ ひとし

● 福田 人志氏（老行の会）

長崎県佐世保市在住。高校卒業後、板前を志し料亭やホテルで経験を積み日本料理を習得。その後、高齢者など嚥下食を必要とする方が多くおられる実情を知り、病院の調理業務に携わる。2015年に若年性アルツハイマー型認知症の診断を受ける。2015年6月後見人の中倉さんと2人で「老行の会」、2016年1月に「認知症カフェ畔の茶屋」を立ち上げる。2017年6月から佐世保・東北地域型認知症疾患医療センター附属若年性認知症支援相談室の支援相談員として勤務。

平成 29 年 10 月 20 日



本年は「認知症予防」の視点、「報道取材を通してのジャーナリスト」の視点、今後の医療行政におけるキーワードとも言える「地域包括ケアシステム」という制度から認知症対策を考えること、「若年性認知症」ご本人の視点という例年とは視点を少し変えてのアプローチを試みております。

また、会場では例年どおり、協賛企業様からのブース出展、認知症予防学会発刊の書籍の販売、講演活動とともに創作活動を行っている福田 人志 氏の作品展示等、認知症に係る様々な情報発信も行います。

昨年開催の様子



本件に係る問い合わせ

医療法人新成医会 企画医療情報室 担当 布川または川崎まで

電話 025-244-0030